

スクールマネジメント実践報告書

107 直江津東中学校 地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども (郷土愛、自立、共生、社会力の育成)
本校の目指す子ども像	心身ともに健康で、豊かな知性を持ち、活力に富む生徒



実現に向けた重点的な取組内容	小中一貫教育の具体的な取組	
	本校の取組	中学校区の取組
	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びを生み出す授業改善 家庭学習・自主学習の習慣づくり 仲間を大切に作る集団づくり 望ましい健康的な生活習慣づくり 正しいメディア接触の習慣づくり キャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャリア教育を中核とした一貫教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「郷土愛」の育成を重点取組としたキャリア教育の実践 ・中学校区共通評価項目による評価と経年変化の分析 ・キャリアパスポートの改善と活用 ○人権感覚を磨く共通取り組みの実践（中倉茂樹さんの講演、いじめ見逃しゼロスクール集会） ○学校間授業研究交流会の実施、家庭学習の充実（スタディ&アウトメディアウィーク）、新「学習の約束」の周知と徹底
	成果○と課題■	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒は落ち着いた環境で授業に取り組むことができた。 ○ 1学年で、コロナ対策を行った上で、職業に関する講話を複数回実施することができた。 ■ 生徒の家庭学習習慣に課題があり、十分な学力が身に付いていない。教科部会の更なる充実が望まれる。 ■ 「コロナ禍」のため、職場体験学習の実施が困難な状況にあるが、次年度は可能な範囲内で実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャリア教育に係る教職員自己評価の取組が2年目となり、経年比較により、課題がより明確になった。 ○各校の実践を交換する中で、地域とともに活動を進める姿が見られた。 ○小中一貫した様々な上記共通取組の中で、児童生徒共に確実に成長した。 ■各校の独自性を生かしながら学校間連携を進め、9年間を見通した実践を、さらに進める必要がある。「郷土愛」の育成について、取組を工夫していく。 	

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
学校運営協議会・直東学園運営協議会などの協力のもと、全学年において計画的・系統的に、人権教育、キャリア教育を実施した。	1年生	いじめ・見逃しゼロスクール集会
	2年生	立志式
	3年生	先輩に学ぶ会 天文学習
学校運営協議会の評価 「コロナ禍」の制限がある中、対策を十分に行い、体験活動が増えたことは喜ばしい限りである。今後も、元気のある、地域を愛する「東中生」を育ててほしい。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

スクーリングマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	1人	住民	11人	その他	0人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における書面協議回数	本校単独	1学期	1回(0)	2学期	1回(0)	3学期	1回(0)	合計3回(0)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回(0)	2学期	0回(0)	3学期	0回(0)	合計0回(0)	

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、県大会・吹奏楽部壮行式を参観。会議で、令和4年度の学校経営方針を説明し、学校経営に対する助言を受けた。 ・2学期は、授業を参観。会議で、前期の学校評価を配付し、学校運営に対する意見をいただいた。 ・体育祭、音楽祭で、生徒が躍動する姿を参観いただいた。 ・3学期は、1年間の学校評価のデータと保護者からの要望等を配付し、学校運営に対する意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染対策を行い、学校行事を参観いただくことができた。 ○ 直接、お会いすることが増えたことで、学校に対する意見を聞くことができ、さらに、地域との連携が深まった。 ○ 学校生活においてボランティア活動等で活躍している生徒が、学校運営協議会から「東中ブリリアント大賞 (R4 新設)」の表彰を受けた。 ■ 「With コロナ」の教育活動の在り方について、地域との協議を継続する必要がある。

地域とともにある学校づくりの総括及び教育委員会への要望・意見
<p>地域の方々の学校への「愛」を強く感じた。地域の考えを適切に取り入れ、より高い学びを提供し、地域を愛する生徒を育てる必要があると考える。昨今、物価の上昇の影響を受け、予算減と各種教育活動費の増大という二重苦の状況下であるが、地域の人材を最大限に生かし、より良い教育活動の在り方を教職員のアイデアを総動員して創り上げていきたい。</p>

〈活動写真〉



1年生：いじめ見逃しゼロスクール集会
○校区内の小学校6年生を迎えて、合同で実施。前半は「仲間づくり」を大事にした中学校の取組を小学生に紹介した。後半はアルビレックスチアリーダーの講演を実施した。



2年生：立志式
○「5年後の私」の姿を発表。目標とする姿になるために、一人一人が「今」頑張りたいことを宣言し。青少年育成会議会長から立志のバッチを授与された。



3年生：先輩に聞く会
○6名の卒業生から各学校の特徴や高校生活について詳しく聞いた。進路実現に向け、中学3年生は、何をすべきなのかアドバイスを受けた。